

令和 6 年度 北海道帯広盲学校 学校評価報告

令和 6 年度の学校評価(教職員自己評価と保護者アンケート、地域の方々)の結果(概要)を報告します。

全ての項目・質問の結果はホームページにて公開しております。ご覧ください。

<http://www.obihiro-sb.hokkaido-c.ed.jp/>



1 令和 6 年度の重点教育目標

考える力、人とかかわる力、行動する力を育てる

2 「資質・能力の育成」に関して

(1) 教職員自己評価の結果

「相手に対する思いやりの心」で低評価が1割ほどありました。その他は9割以上が高評価で、「意欲的に学校に通っている」「自分でできることが増えた」は特に高評価となりました。

(2) 保護者アンケートの結果

全ての項目で高評価でした。特に、「知識の増加」「体力や身体操作の向上」「コミュニケーション能力」「自分でできることが増えた」の項目で「そう思う」の割合が高いです。

(3) 改善に向けて

10 の質問に関して、子どもたちの資質・能力は期待どおり向上しているようです。「人とかかわる力」に関する指導をより充実させ、今後も学校と家庭で評価を共有し続けていく必要があります。

3 「情報発信」に関して

(1) 教職員自己評価の結果

「学級・学部通信」「ホームページ」「一斉メール送信」は全て高評価でした。「コミュニティ・スクール」の取組は低評価が2割程度ありました。

(2) 保護者アンケートの結果

「子どもの事での相談しやすさ」は全て高評価でした。その他の項目では、低評価が複数ありました。

(3) 改善に向けて

今後も相談のしやすい学校づくりを継続します。情報発信については、関係者向け、地域向けのいずれも工夫・充実させる必要があります。コミュニティ・スクールの取組や SNS の活用について、必要性や有効性の継続的な説明や周知が必要です。

4 「いじめ防止」に関して

(1) 教職員自己評価の結果

「保護者に対する、本校のいじめ対策の説明や情報発信は十分か」、「保護者にとって、いじめに関して相談しやすい場所か」、「保護者に対し、いじめに関する相談機関の情報提供は十分か」の項目で低評価が各1件、その他は全て高評価でした。

(2) 保護者アンケートの結果

「いじめ対策の説明や情報発信は十分か」「保護者にとって、いじめに関して相談しやすい場所か」「いじめに関する情報提供」はそれぞれ低評価がありました。

(3) 改善に向けて

現在の認知件数は0件ですが、引き続き、相談のしやすい学校づくり、相談窓口の周知、予防教育に努めます。

5 「教職員の働き方改革」に関して

(1) 教職員自己評価の結果

複数の低評価があり、特に「学校行事の数や内容の見直し」は低評価が半数、「縮小すべき教育活動以外の業務」は低評価が3割という結果でした。

(2) 保護者アンケートの結果

「学校行事の見直しの適切さ」「教育活動以外の業務を縮小する取組は十分」は全て高評価でした。他は低評価が複数ありました。

(3) 改善に向けて

対策はほぼ尽くされていると考えられます。しかし、実施している取組について校内外に周知・評価を継続する必要があります。

6 「学校環境(安全・協働・魅力)」に関して

(1) 教職員自己評価の結果

「食育、安全教育、健康教育」「校務分掌業務の効率化・促進化」は全て高評価でした。「教材研究の情報共有」は2割程度、その他は複数の低評価がありました。

(2) 保護者アンケートの結果

全て高評価でした。

(3) 改善に向けて

今後も安全・安心で、幼児児童生徒、教職員、学校関係者に魅力的な学校づくりの取組を継続していく必要があります。

7 地域の方々からの結果

全ての項目において高評価ですが、「視覚障がい教育の理解・啓発」について低評価がありました。改善に向けて、本校の教育機能や成果を地域により伝えていく必要があります。